

アルメニア	ノアの箱船が着いた地とされる。世界ではじめてキリスト教を国教にした(301年に)。ローマ帝国とペルシャ帝国の緩衝地帯にあった。現在、アゼルバイジャンとカラバフ地方をめぐる紛争がつづいている。	オスマン帝国の侵略(1915年)により、150万人が犠牲になった。全世界にアルメニア人は758万人いるが、本国いるのは297万人(4割)といわれる。1991年にソビエトから独立した。
コロンビア	カリブ海沿岸の観光地、スペインによるアメリカ大陸最初の植民地であり、アフリカ人奴隷が解放された最初の場所の一つ。カタルヘナはスペイン様式の建物がのこり、世界遺産になっている。スペイン総督をこの地から追放した(1810年7月20日)。	統合がなされるも混乱のなか、エクアドル・ベネズエラが脱退し、1903年にパナマが独立した。以降、米国による経済支配がすすんだ。戦後50年および内戦では、約22万人が死亡、4万5千人が行方不明、740万人が難民となった。2017年に和平合意がなされ、武装勢力は武装解除した。
ケニア	2007年12月27日に行われた大統領選挙では、現職と改革派が争うこととなった。選挙委員会は現職キバキ大統領の勝利とした。不服を持った改革派支持者たちは抗議活動したが、認められなかった。選挙の不正もとりざたされ、予想に反する結果への不満が暴力紛争へと発展した。	暴動と住民襲撃事件は翌2008年1月半ばにいったん沈静化したものの1月末から2月初めの段階でも一度に10人以上が殺害されるような事件が断続的に続いた。警察・機動隊の発砲・殴打による犠牲者も多数あり、死者は少なくとも1000人にのぼり、35万人とも60万人ともいわれる人びとが国内避難民となった。
ベルファスト	イースター蜂起(1916年)によって独立共和国と宣言されたが、イギリス軍に鎮圧された。1922年にアイルランド自由国が独立したとき、プロテスタント(国教徒)の多い北アイルランドはそれに加わらず、連合王国にのこった。	4割にあたるイギリスからの移民(ロイヤリスト)が土地を所有し、アイルランドとつながりのつよい(ナショナリスト)と対立をきわめた。1960年代末から、IRAは爆弾テロや暗殺など過激な武装闘争を展開した。1998年の和平合意により、自治政府が発足し、2010年に武装解除がなされた。
プエルトリコ	カリブ海北東に位置するアメリカ合衆国の自治連邦区(コモンウェルス)とされる。米西戦争(1898年)により、スペインから割譲され、パリ条約によりアメリカ合衆国の領土となった。プエルトリコ独立運動を支持する声もあるが、機運は高まっていない。多数の米軍基地が立地するが、ビエケス島の海軍基地は2003年に撤収され、フロリダに移転した。	2015年に、破産申請をした。債務は700億ドル(7兆8000億円)にあたり米国最大。人口は350万人。民のうち2/3がフード・スタンプ(食料配給券)を受給する生活保護世帯とされる。州昇格派、自治派、独立派が対立している。米国本土に移住した人びとによる海外送金も経済を支えている。

バスク	フランスとスペインの両国にまたがり、独自の文化をもつとされる。言語は独特とされ、スペイン圏では公用語とされている。フランシスコ・ザビエル生誕の地。ピカソが描いたドイツ軍によるゲルニカ爆撃の壁画が知られている。内戦ではビルバオが陥落し、自治政府は亡命政府となった。	15万人以上のバスク人が難民となり、フランコ政権下ではバスク語の使用やバスク国旗掲揚が禁止された。「バスク祖国と自由」(ETA)は、分離主義を掲げて1959年に発足し、過激な武装闘争を行った。民主化とともに自治州が発足した(1979年)。2017年4月にETAは完全武装解除した。
クリミア	ギリシャ、ローマ、モンゴル、オスマン帝国、英国による干渉を受けてきた。ムスリムの多いこの地に、ロシアは18世紀末以来、スラヴ人(ロシア人とウクライナ人)キリスト教徒の移住をすすめた。第二次世界大戦を終結させるヤルタ会談はロシア皇帝ニコライ2世の離宮でなされた。	クリミア自治共和国は、クリミア半島のうちセヴァストポリを除いた地域を管轄する。2014年、親ロシア派が住民投票を実施し、「クリミア共和国」としてロシア連邦に編入した。ウクライナ政府およびアメリカ合衆国、欧州連合(EU)、そして日本などはロシアへの編入を認めていない。
ノグンリ	斤里(ノグンリ)では朝鮮戦争時、1950年7月に起きた米軍による韓国民間人の虐殺事件が起きた。「戦闘地域を移動するすべての民間人を敵とみなし発砲せよ」という命令のもと。避難民に、機銃掃射を行い、逃げたものは米兵が追いつめて射殺した。	約300名の民間人が虐殺された。長く伏せられていたが、1994年に生存者が著書を出し知られるようになった。在韓米軍が現地調査を実施し、2004年には事件の犠牲者の名誉を回復する法案が韓国国会を通過し、平和公園(No Gun Ri Peace Park)ができた。
スリランカ	キャンディ王朝の滅亡(1815年)により、英国の植民地となり、それまでの境界は無視され、「少数派」のタミル人を行政官に重用して、「多数派」のシンハラ人を統治させる「分割統治」がなされた。新憲法(1972年公布)では、シンハラ語を唯一の公用語とし、シンハラ人の大多数が信仰する「仏教」を厚遇するようになった。	1972年にスリランカからの分離独立を目指す「タミルの新しいトラ」(TNT)が結成され、武装闘争、戦争がくりかえされた。内戦は26年間におよんだ。政府軍と反政府武装組織とで和平合意(2009年)がなされたが、戦争犯罪や違法行為への立証、和解が課題となっている。約28万人ものタミル人らが国内避難民となっており、帰還がすすめられている。
イスラエル・パレスチナ	イギリスはユダヤの人びとに対しパレスチナでの「ホームランド」の建設を認めるバルフォア宣言を、他方、アラブ人には独立を認めるフセイン・マクマホン協定を結んだ。1948年、国連によるパレスチナ分割案によりイスラエルが建国されたが、アラブ連盟との第一次中東戦争が勃発した。	以降、中東戦争がくりかえされ、80年代にはPLO(パレスチナ人民解放戦線)による抗争がなされた。オスロ合意(1993年)により、パレスチナ暫定自治政府が設立された。一方、イスラエルは入植をすすめ、自爆テロ防止のためとして分離壁の建設を続けており、パレスチナ人の生活を抑圧している。